

第6章 ゴレイロが攻撃の起点となる「1. 9種類のスロー」

フットサルとサッカーのGKの違い、それはゴレイロの1つのプレーにより「得点のアシスト（攻撃）」ができるか否かです。もちろん、サッカーもロングキックや素早いフィードで得点に絡むことができますが、フットサルに比べれば頻度の違いは明らかです。

ここでは、9種類のスローを紹介します。実際に9つを使い分けなさいということではありませんが、いくつかのパターンを自分の頭に植え付けておきましょう。

【スローの基本の構え】

フットサルのスローの大前提として、「同じ構えからのスタート」があります。これは相手DFの立場から考えて頂きたいのですが、例えば遠くに投げる時と近くに投げる時が違う構えであれば、相手は守りやすくなります。常に同じバックスイングと構えから、様々な距離・パターンを投げ分けることで、相手が次のプレーを予測しづらくなります。



【其の1】近距離スロー① アンダースロー

フットサルの最も基本的なスローとなります。ゴールクリアランスで多用されるスローです。味方の取りやすい位置（通常は利き足）にボール1個以内の誤差で投げられるように何度も練習しましょう。



～守護神はチームの主軸にして攻撃の起点
日本初の本格的ビギナー向けGKクリニック～
ゴレプロ ～Goleiro Professional Clinic～

【其の2】近距離スロー② アンダー → 逆サイドスロー

一種のフェイクスローになります。一度投げようとしたところを途中で止め、反対側のサイドに投げる方法ですが、その際両手で持って軽く置くように投げることでバックスイングが不要になり、4秒ルール対策にもなります。



【其の3】近距離スロー③ アンダー → 股下スロー

体を右に向けて、股下を通してボールを逆サイドに投げるパターンです。相手がハイプレスをかけてきた際のフェイクスローとして有効です。



【其の4】ロングスロー① オーバースロー

アンダースローと並び、中長距離を投げる際の基本的なスローとなります。ボールを握れる・握れないに関わらず、しっかりとバックスイングを取り、アンダースローと同じフォームから投げ分けられるようにすることが理想です。また、同じバックスイングから、左右どちらの相手にも投げられるようにしましょう。



～守護神はチームの主軸にして攻撃の起点
日本初の本格的ビギナー向けGKクリニック～
ゴレプロ ～Goleiro Professional Clinic～